



ひと・モノ・文化が交流し にぎわいあふれる まちづくりを目指して

# 屋代地区開発の「いま」 Vol.2

## (広域交流拠点整備)



### ◎今後の方針について (前号からのおさらい)

～屋代地区開発の「いま」vol.1より～

○千曲市全域や広域での活性化につながる新たなまちづくりに取り組む

●安全・安心や生活の質の向上、経済活動を促進する効果がある道路をはじめとした基盤整備を計画的に進める

○今後もホームページ等で市民情報提供する。

(R2.12発行:屋代地区開発の「いま」vol.1より抜粋)

### ◎市道一重山2号線道路整備に着手します

上記方針に基づき、市は千曲市産業連携道路ネットワーク(※)に位置付けられた市内幹線道路のうち、屋代地区を南北に縦断する「市道一重山2号線」(都市計画道路一重山線の一部)の整備を進めてまいります。

#### ネットワーク整備方針について

ネットワークに位置付けられた主要幹線は「国」「県」「市」が役割・連携を図りながら整備を実施

国・県・市

(※)市内の主要産業拠点同士を結び「人」「モノ」「文化」を全域に循環・波及させる道路を軸としたネットワーク

詳細は「いま」vol.1を参照

現在の状況

市内を南北に結ぶ都市計画道路「千曲線」が開通

市

国道18号バイパス・都市計画道路若宮線・カ石バイパス(供用中)など川西地区での整備が進捗

国・県

雨宮・八幡東地区に新たな大規模産業団地が形成

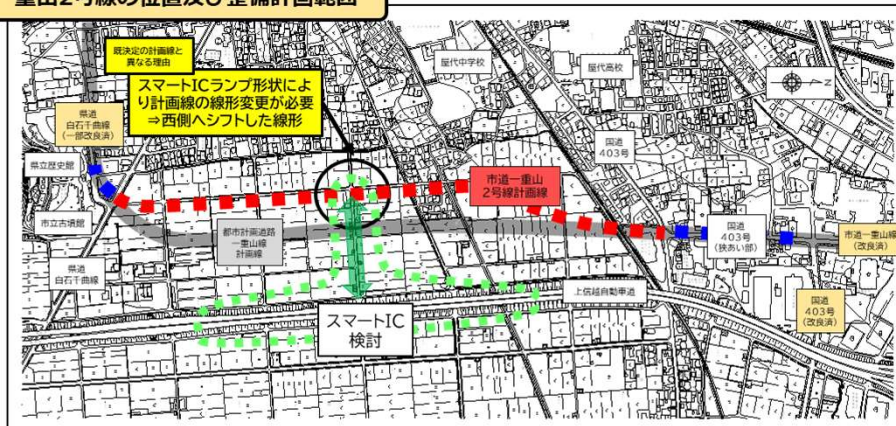
民間

これらの状況を勘案し、今後市は最優先に整備を進める路線として市内を東西に結ぶ都市計画道路「一重山線」とすることに決定

市

今年度よりその一部である市道一重山2号線の整備に着手してまいります

#### 市道一重山2号線の位置及び整備計画範囲



## ◎市道一重山2号線道路整備に伴う地権者説明会を開催しました

令和3年2月15日・17日、新型コロナウイルス感染予防対策を実施した上で地権者説明会を開催し、市担当者より主たる内容として下記①、②を説明するとともに、参加者からの質疑に対しお答えしました。

①都市計画道路「一重山線」のこれまでの変遷、産業連携道路ネットワークについて

②測量・設計の内容、土地の立ち入りへのお願い、今後のスケジュールについて

(説明会時使用資料はホームページにて閲覧可)



R3.2.15・17説明会状況写真

### 説明会時に出された質問とその回答

Q:国道403号部においても市道一重山2号線同様に幅員23mで整備を進めていくのか?

A:基本的には20mでの整備を計画しているが、市道一重山2号線との交差部分の前後ではそれ以上となる所も出てくる。今後の測量・設計にて明らかにしていく。

Q:スマートICの状況は?

A:スマートICは最終的に国が整備決定するものであるため、市はこれまで国に対し整備効果や整備にかかる費用を算出し説明を行ってきた。現在この費用の精査及び圧縮を求められていることから、引き続き進めていく。

Q:一重山2号線が開通し更にネットワークがつながると交通量が多大となると想定される。低速の農耕車が一重山2号線を横断したい場合4車線では危険が伴うため、横断地下道など整備をお願いしたい。

A:今後の測量・設計の中で検討していく。

Q:農業用水路は道路のどの位置に入るのか?

A:道路排水の系統と農業用水の系統とは分けて考える必要があることから、今後の測量・設計の中で検討し適切な位置に設置したい。

Q:市の考えとして、一重山2号線はこれまで取り沙汰されている大型商業施設の規模を見据えた道路なのか、それとも道路を整備した上でそこに合わせた施設を誘致していくということなのか、どちらか?

A:一重山2号線の線形については資料にも記載の通り、既決定の都市計画道路計画線に対し検討中のスマートICの出入口を勘案して一部形を変えているものであり、今後の開発検討に当たっては本道路の線形をベースとして進めていく。



←二次元コード読み取り  
詳しくは地域開発推進室の  
ホームページをご覧ください

～この通信に関するご質問・ご意見は～

千曲市役所 建設部 地域開発推進室  
室長:稲玉修治 係長:篠原哲哉 係員:伊藤孝雄

Email:kaisui@city.chikuma.lg.jp  
TEL:026-273-1111(内線3243・3244)